

ハイタッチ（MH世界バランス20）

特別勘定の現況 兼 特別勘定レポート

（2010年度）

（2011年6月発行）

● 投資環境（2010年度）

日本株式市場

当期の日本株式市場において、日経平均株価は期初11,089円で始まりました。4月3日に当期の高値となる11,339円をつけた以降は、欧州諸国の財政懸念等によるリスク回避姿勢の強まりから円高が進行したため、輸出関連株等が売られ、8月には9,000円台を割り込みました。その後、米国の金融緩和措置や円高傾向が解消されたことから相場は上昇に転じました。しかし、東日本大震災の影響で3月中旬には再び9,000円を割り込み、当期の安値となる8,605円をつけましたが、期末にかけ上昇し9,755円で終了しました。

外国株式市場

当期の外国株式市場は、昨年度末からの経済回復期待で堅調に始まりましたが、その後脆弱な米経済指標の発表や欧州諸国の緊縮財政政策が世界的な経済成長を鈍らせるとの懸念が高まり、7月に米国S&P500指数は1,022ポイント、英国FTSE100指数は4,805ポイントの安値をつけました。9月以降は好調な経済指標や金融緩和策の発表等により上昇に転じ、3月に日本の震災と原発問題があったものの、期を通じて堅調に推移し、期末はS&P500指数が1,325ポイント、FTSE100指数が5,908ポイントで終了しました。

日本債券市場

当期の日本債券市場において、長期金利（10年国債利回り）は期初1.40%で始まりましたが、4月以降の欧州財政危機に伴う投資家の質への逃避行動や景気回復への懸念等から利回りは下落（価格は上昇）基調となり、9月には0.84%まで低下しました。米国の中央銀行による追加的な金融緩和策によって、景気の先行き見通しや金融市場のセンチメント（市場心理）が回復し、資産価格上昇および金利上昇が見られた結果、利回りは上昇し、2月には1.3%台までつけましたが、期末は東日本大震災の影響により1.26%で終了しました。

外国債券市場

当期の外国債券市場は、期初、ギリシャ債務懸念の周辺諸国への波及や米国の経済指標が弱含んだことから景気減速懸念が再燃し、これに伴う投資家の質への逃避行動から債券が買われ、利回りは下落（価格は上昇）し、米国国債（10年債）で2.38%、ドイツ国債（10年債）で2.12%となりました。その後は、米国の景気回復期待などから、主要国の国債利回りは上昇に転じました。3月には日本の震災と原発問題から一時的に下落しましたが、期末は米国国債（10年債）が3.47%、ドイツ国債（10年債）が3.35%で終了しました。

外国為替市場

当期の外国為替市場は、年度を通じて円が主要通貨に対して強い展開となりました。円は対米ドルで93円台から始まりましたが、市場での利上げ観測が後退したことから円高が進み、11月初旬には80円台前半をつけ、95年以来的円高水準に達しました。対ユーロについても円高が進み、期初の126円台から、8月には一時01年以来的105円台をつけました。3月の日本の震災と原発問題により、対米ドルで一時78.89円をつけたものの、その後は円が売られ、期末は、対米ドルが83.13円、対ユーロが117.69円で終了しました。

● 特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



ご契約者さまへのご案内

- 当資料はご契約者さまに特別勘定の運用状況や運用概況などをお知らせするための資料です。
- 当資料はご契約者さまの運用状況などをご案内する「ご契約状況のお知らせ」とは異なります。ご契約者さまの個別の運用状況は掲載されておきませんのでご了承ください。
- 今回の月次運用レポートは発行月前月末時点の最新データによるものです。
- 各種データの収集、加工のためにデータ基準日からレポートのご提供までお時間をいただいております。何卒ご了承ください。
- 各種変更手続き、積立金額のご照会など、ご契約に関するお問い合わせは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ご契約者さま専用テレホンサービス 0120 - 155 - 730

受付時間 月～金 / 9:00～17:30
(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)

- ホームページによる情報提供とサービス

東京海上日動フィナンシャル生命 ホームページ

<http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約者さま専用ページでは、ログインIDとパスワードを使って、インターネットから住所変更などのお手続きや運用状況の確認を行うことができます。
データは毎営業日に更新されますので、いつでも最新の情報を得ることができます。

ログインIDとパスワードはご契約者さまご本人において厳重に管理していただき、第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。
--

- 東京海上日動フィナンシャル生命では、個別の運用に関するご相談は承っておりません。運用のご相談は、担当の代理店・生命保険募集人をお願いいたします。

特別勘定(ファンド)の内容

種類	総合型		
特別勘定の名称	MH世界バランス20	MH世界バランス40	MH世界バランス60
設定日	2009年12月11日	初回移転日 ^{*1}	初回移転日 ^{*1}
特別勘定の ^{*2} 運用方針	投資対象とする投資信託を通じ、日本を含む世界の株式および公社債などに分散投資を図り、中長期的な財産の成長を目指した運用を行います。		
管理運営方針	当社は、当該特別勘定の資産運用を、主として投資対象となる投資信託に投資することにより行います。当社は、保険契約の異動(解約・積立金移転等)等に備えて、当該特別勘定資産の中で若干の現預金を保有します。		
主な投資対象となる投資信託	DIAMバランス20VA (適格機関投資家限定)	DIAMバランス40VA (適格機関投資家限定)	DIAMバランス60VA (適格機関投資家限定)
	国内株式 5% 外国株式 (為替ヘッジあり) 15% 国内債券 50% 外国債券 (為替ヘッジあり) 15% 外国債券 (為替ヘッジなし) 15%	国内株式 10% 外国株式 (為替ヘッジあり) 20% 国内債券 35% 外国債券 (為替ヘッジあり) 20% 外国債券 (為替ヘッジなし) 25% 外国株式 (為替ヘッジなし) 10%	国内株式 15% 外国株式 (為替ヘッジあり) 25% 国内債券 25% 外国債券 (為替ヘッジあり) 25% 外国債券 (為替ヘッジなし) 15% 外国株式 (為替ヘッジなし) 20%
資産運用関係費用	年率0.189%程度(税抜年率0.18%程度) ^{*3}		
運用会社	DIAMアセットマネジメント		

^{*1} 当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

^{*2} 特別勘定の資金動向、市況動向等に急激な変化が生じた場合、ならびに純資産総額が運用に支障をきたす水準となった場合等、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用が出来ない場合があります。

^{*3} 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

・ハイトッチ(変額個人年金保険GF(型)<年金原資保証特約(型)付加>)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

MH世界バランス20

● ユニットプライスの推移

ユニットプライス



● 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	4,907	98.5%
現預金その他	74	1.5%
純資産総額	4,982	100.0%

金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

● ユニットプライスの期間収益率

	ユニットプライス	前月比
2010年6月30日	98.26	-0.77%
7月31日	99.40	1.16%
8月31日	98.89	-0.51%
9月30日	100.33	1.45%
10月31日	99.68	-0.65%
11月30日	98.83	-0.84%
12月31日	99.22	0.39%
2011年1月31日	99.18	-0.04%
2月28日	99.49	0.31%
3月31日	99.32	-0.17%
4月30日	99.73	0.41%
5月31日	99.35	-0.38%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.38%	-0.14%	0.53%	0.34%	-0.64%

ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

MH世界バランス40

当特別勘定への初回移転日^{*}を含む月の、翌月から作成する予定です。

MH世界バランス60

当特別勘定への初回移転日^{*}を含む月の、翌月から作成する予定です。

^{*} 当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

・ハイトタッチ(変額個人年金保険GF(型)<年金原資保証特約(型)付加>)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

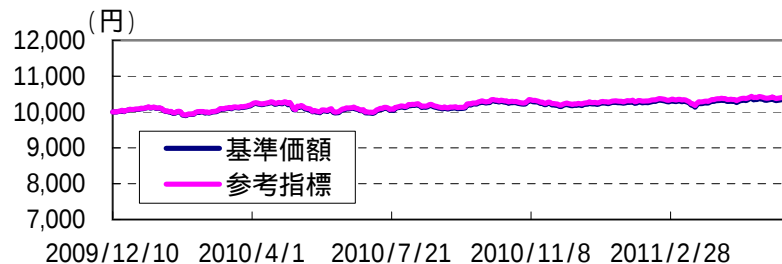
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

組入投信の運用状況 【DIAMバランス20VA(適格機関投資家限定)】

2011年5月31日現在

● 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。

基準価額および参考指標は設定日(2009年12月11日)の前日を10,000として表示しております。

基準価額は信託報酬(純資産総額に対して、年率0.189%(税抜0.18%))控除後です。

● 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,356 円
純資産総額	4,909 百万円
設定日	2009年12月11日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

● 騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-0.14%	0.57%	1.96%	3.22%	-	3.56%
参考指標	-0.02%	0.64%	2.15%	3.50%	-	4.10%
差	-0.12%	-0.07%	-0.19%	-0.28%	-	-0.54%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

● マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式バット・ファンド(最適化法)・マザーファンド	5.0%	5.1%	0.1%	-1.6%
国内債券	国内債券バット・ファンド・マザーファンド	50.0%	49.8%	-0.2%	0.4%
外国株式(ヘッジあり)	為替フルヘッジ外国株式バット・ファンド・マザーファンド	15.0%	15.0%	0.0%	-1.7%
外国債券(ヘッジなし)	外国債券バット・ファンド・マザーファンド	15.0%	15.0%	0.0%	-1.4%
外国債券(ヘッジあり)	為替フルヘッジ外国債券バット・ファンド・マザーファンド	15.0%	15.0%	0.0%	1.6%
現金等	-	-	0.0%	0.0%	-
合計	-	100.0%	100.0%	0.0%	-

比率は純資産総額に対する割合です。

計理処理の仕組み上、直近の追加設定が反映されないことなどにより、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

● マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式バット・ファンド(最適化法)・マザーファンド:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
【国内債券】	国内債券バット・ファンド・マザーファンド:NOMURA-BPI総合
【外国株式(ヘッジあり)】	為替フルヘッジ外国株式バット・ファンド・マザーファンド:MSCIロクサイ・インデックス(円ベース、配当込み、為替ヘッジあり)
【外国債券(ヘッジなし)】	外国債券バット・ファンド・マザーファンド:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)
【外国債券(ヘッジあり)】	為替フルヘッジ外国債券バット・ファンド・マザーファンド:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいづれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいづれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

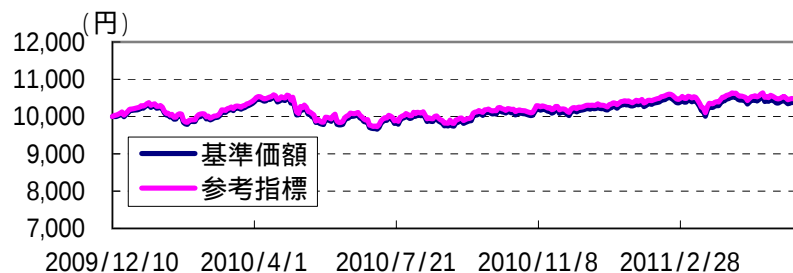


■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意ください」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【DIAMバランス40VA(適格機関投資家限定)】

2011年5月31日現在

● 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。

基準価額および参考指標は設定日(2009年12月11日)の前日を10,000として表示しております。

基準価額は信託報酬(純資産総額に対して、年率0.189%(税抜0.18%))控除後です。

● 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,409 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2009年12月11日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

● 騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.14%	0.18%	3.46%	5.01%	-	4.09%
参考指標	-0.94%	0.15%	3.61%	5.29%	-	5.06%
差	-0.20%	0.03%	-0.15%	-0.27%	-	-0.97%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

● マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式バップ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	10.0%	9.9%	-0.1%	-1.6%
国内債券	国内債券バップ・ファンド・マザーファンド	35.0%	35.3%	0.3%	0.4%
外国株式(ヘッジなし)	外国株式バップ・ファンド・マザーファンド	10.0%	9.6%	-0.4%	-3.9%
外国株式(ヘッジあり)	為替フルヘッジ外国株式バップ・ファンド・マザーファンド	20.0%	19.8%	-0.2%	-1.7%
外国債券(ヘッジなし)	外国債券バップ・ファンド・マザーファンド	25.0%	25.0%	0.0%	-1.4%
現金等	-	-	0.3%	0.3%	-
合計	-	100.0%	100.0%	0.0%	-

比率は純資産総額に対する割合です。

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

● マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式バップ・ファンド(最適化法)・マザーファンド:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
【国内債券】	国内債券バップ・ファンド・マザーファンド:NOMURA-BPI総合
【外国株式(ヘッジなし)】	外国株式バップ・ファンド・マザーファンド:MSCIロイヤル・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)
【外国株式(ヘッジあり)】	為替フルヘッジ外国株式バップ・ファンド・マザーファンド:MSCIロイヤル・インデックス(円ベース、配当込み、為替ヘッジあり)
【外国債券(ヘッジなし)】	外国債券バップ・ファンド・マザーファンド:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

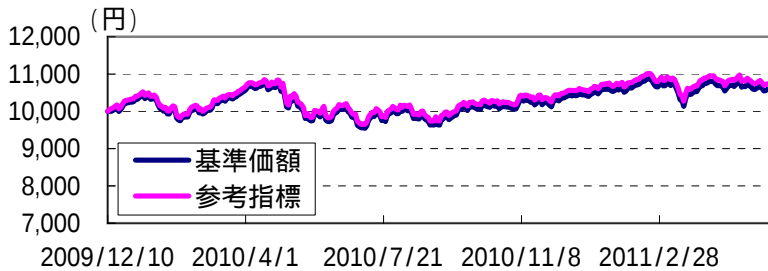


■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供されるものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【DIAMバランス60VA(適格機関投資家限定)】

2011年5月31日現在

● 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。

基準価額および参考指標は設定日(2009年12月11日)の前日を10,000として表示しております。

基準価額は信託報酬(純資産総額に対して、年率0.189%(税抜0.18%))控除後です。

● 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	10,633 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2009年12月11日
決算日	原則 毎年10月22日
信託期間	無期限

● 騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-1.58%	-0.66%	4.61%	7.25%	-	6.33%
参考指標	-1.40%	-0.65%	4.81%	7.64%	-	7.79%
差	-0.18%	-0.01%	-0.19%	-0.39%	-	-1.46%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

各マザーファンドのベンチマークを基本資産配分比率で合成したものを参考指標といたします。

● マザーファンド組入状況

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	差異	当月騰落率
国内株式	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	15.0%	14.9%	-0.1%	-1.6%
国内債券	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	25.0%	25.3%	0.3%	0.4%
外国株式(ヘッジなし)	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	20.0%	19.5%	-0.5%	-3.9%
外国株式(ヘッジあり)	為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	25.0%	24.9%	-0.1%	-1.7%
外国債券(ヘッジなし)	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	15.0%	15.0%	0.0%	-1.4%
現金等	-	-	0.3%	0.3%	-
合計	-	100.0%	100.0%	0.0%	-

比率は純資産総額に対する割合です。

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

● マザーファンドのベンチマーク

【国内株式】	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
【国内債券】	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド:NOMURA-BPI総合
【外国株式(ヘッジなし)】	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド:MSCIロイヤル・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)
【外国株式(ヘッジあり)】	為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド:MSCIロイヤル・インデックス(円ベース、配当込み、為替ヘッジあり)
【外国債券(ヘッジなし)】	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド:シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金・保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



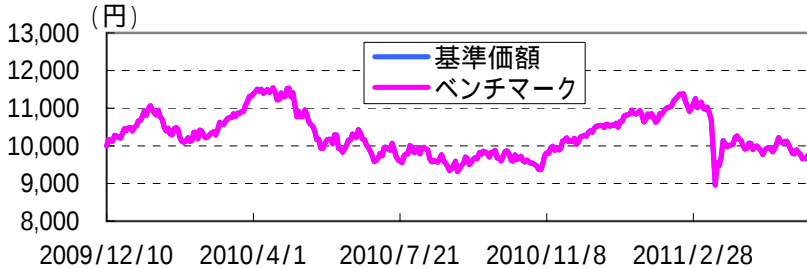
■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【各マザーファンドの運用状況】

2011年5月31日現在

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

● 基準価額の推移



基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	-1.56%	-10.89%	-1.39%	-2.69%	-	-0.98%
ベンチマーク	-1.56%	-10.89%	-1.41%	-2.68%	-	-1.00%
差	0.01%	-0.01%	0.01%	-0.01%	-	0.02%

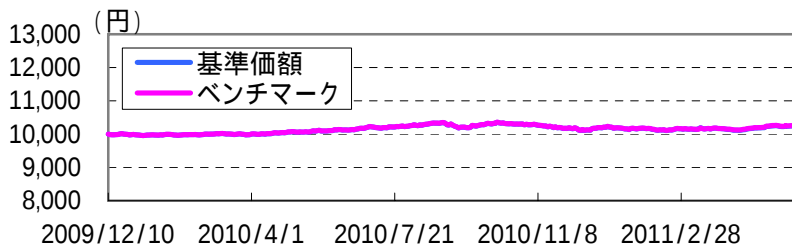
設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

● 基準価額及び純資産総額

基準価額 11,050 円
純資産総額 267,566 百万円

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

● 基準価額の推移



基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	0.37%	0.68%	0.63%	1.38%	-	2.30%
ベンチマーク	0.38%	0.76%	0.70%	1.47%	-	2.42%
差	-0.01%	-0.08%	-0.07%	-0.09%	-	-0.12%

設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



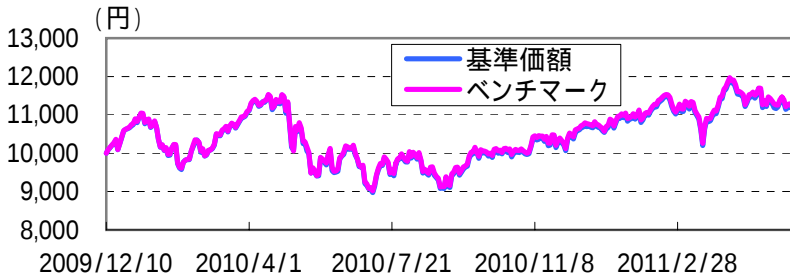
■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意ください」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【各マザーファンドの運用状況】

2011年5月31日現在

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

● 基準価額の推移



● 基準価額及び純資産総額

基準価額 13,647 円
純資産総額 287,534 百万円

基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)です。

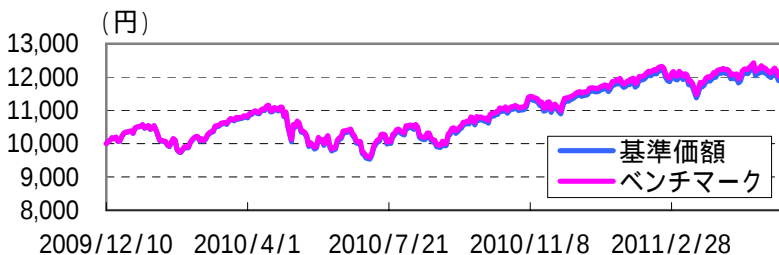
● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	-3.88%	1.24%	10.01%	14.60%	-	12.37%
ベンチマーク	-3.54%	1.12%	10.12%	14.60%	-	12.85%
差	-0.34%	0.12%	-0.11%	0.00%	-	-0.48%

設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

● 基準価額の推移



● 基準価額及び純資産総額

基準価額 15,452 円
純資産総額 2,362 百万円

基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。
ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース、配当込み、為替ヘッジあり)です。

● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	-1.74%	0.23%	9.75%	19.36%	-	20.23%
ベンチマーク	-1.66%	0.44%	10.09%	20.13%	-	21.57%
差	-0.08%	-0.21%	-0.34%	-0.77%	-	-1.34%

設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■ 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■ 投資信託は1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



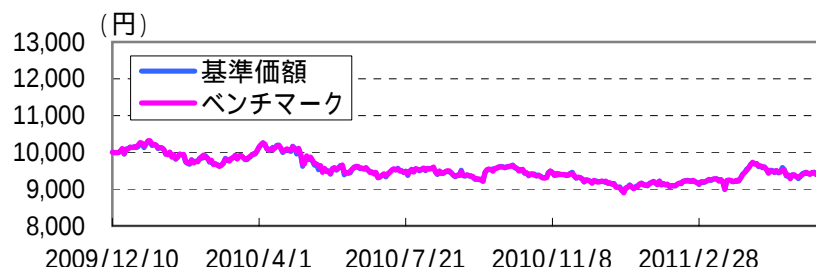
■ この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意ください」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【各マザーファンドの運用状況】

2011年5月31日現在

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

● 基準価額の推移



基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。

ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)です。

● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	-1.44%	3.57%	1.79%	-1.17%	-	-5.48%
ベンチマーク	-0.96%	3.15%	1.71%	-1.74%	-	-5.78%
差	-0.47%	0.42%	0.08%	0.56%	-	0.30%

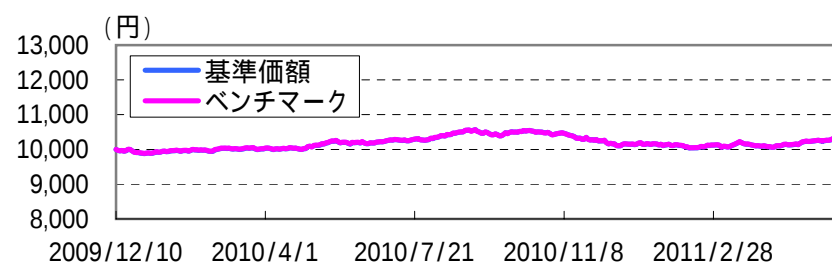
設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

● 基準価額及び純資産総額

基準価額 11,787 円
純資産総額 391,308 百万円

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

● 基準価額の推移



基準価額およびベンチマークは2009年12月10日の値を10,000として指数化しております。

ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)です。

● 騰落率

	1ヵ月 (2011/04/28)	3ヵ月 (2011/02/28)	6ヵ月 (2010/11/30)	1年 (2010/05/31)	3年 (2008/05/30)	設定来 (2009/12/10)
当ファンド	1.63%	1.75%	0.37%	0.98%	-	3.00%
ベンチマーク	1.72%	1.80%	0.48%	1.02%	-	3.11%
差	-0.10%	-0.05%	-0.11%	-0.04%	-	-0.11%

設定来の騰落率は2009年12月10日を基準に算出しています。

■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■ 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■ 投資信託は1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



■ この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【各マザーファンドの組入状況】

2011年5月31日現在

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

比率は組入株式評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄:1668銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.87
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.48
3	本田技研	輸送用機器	2.31
4	キヤノン	電気機器	2.15
5	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.57

株式には新株予約権証券を含む場合があります。

● 組入上位5業種

No	業種名	比率(%)
1	電気機器	14.72
2	輸送用機器	10.57
3	銀行業	8.91
4	情報・通信業	6.09
5	化学	6.09

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄:652銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	3 1 2 回 利付国庫債券(10年)	1.58
2	3 1 0 回 利付国庫債券(10年)	1.51
3	9 3 回 利付国庫債券(5年)	1.48
4	8 9 回 利付国庫債券(5年)	1.41
5	6 6 回 利付国庫債券(5年)	1.35

● セクター別比率

	比率
国債	76.62%
地方債	6.75%
金融債	1.53%
政保債	4.66%
社債	9.43%
円建外債	0.24%
MBS	0.78%
ABS	0.00%
合計	100.00%

● ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	0.84%
平均クーポン	1.44%
平均残存期間(年)	8.01
修正デュレーション	6.99

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入株式評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄:1299銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.79
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.33
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.95
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術サービス	0.89
5	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.89

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

● 組入上位5カ国

No	国名	比率
1	米国	52.59%
2	英国	10.31%
3	カナダ	5.95%
4	フランス	4.87%
5	スイス	4.80%

● 組入上位5業種

No	業種名	比率
1	エネルギー	12.37%
2	素材	8.07%
3	銀行	8.02%
4	資本財	7.83%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.43%

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【各マザーファンドの組入状況】

2011年5月31日現在

為替フルヘッジ外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入株式評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄: 1227銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.77
2	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	1.32
3	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.95
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術サービス	0.87
5	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.87

株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります(以下同じ)。

● 組入上位5カ国

No	国名	比率
1	米国	52.55%
2	英国	10.27%
3	カナダ	6.00%
4	フランス	4.82%
5	スイス	4.74%

● 組入上位5業種

No	業種名	比率
1	エネルギー	12.38%
2	素材	8.11%
3	銀行	8.01%
4	資本財	7.81%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.37%

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄: 432銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率
1	US T N/B 4.0 11/15/12	米ドル	0.99
2	US T N/B 4.25 11/15/13	米ドル	0.93
3	US T N/B 4.0 02/15/14	米ドル	0.93
4	US T N/B 4.75 05/15/14	米ドル	0.83
5	US T N/B 4.25 08/15/13	米ドル	0.81

● ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	2.67%
平均クーポン	4.01%
平均残存期間(年)	8.06
修正デュレーション	5.82

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

● 通貨別比率

通貨	比率
USドル	38.67%
カナダ・ドル	3.00%
メキシコ・ペソ	0.97%
イギリス・ポンド	8.19%
デンマーク・クローネ	0.87%
ノルウェー・クローネ	0.28%
ユーロ	44.29%
スウェーデン・クローネ	0.74%
ポーランド・ズロチ	0.90%
オーストラリア・ドル	1.17%
シンガポール・ドル	0.42%
マレーシア・リンギット	0.50%
合計	100.00%

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

比率は組入債券評価額に対する割合です。

● 組入上位5銘柄

(組入銘柄: 424銘柄)

No	銘柄	通貨	比率(%)
1	US T N/B 4.25 08/15/15	米ドル	0.83
2	US T N/B 1.125 06/15/13	米ドル	0.82
3	US T N/B 4.25 11/15/13	米ドル	0.81
4	US T N/B 4.25 08/15/13	米ドル	0.80
5	US T N/B 3.875 02/15/13	米ドル	0.79

● ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	2.64%
平均クーポン	3.86%
平均残存期間(年)	7.98
修正デュレーション	5.77

ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■投資信託は1.預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

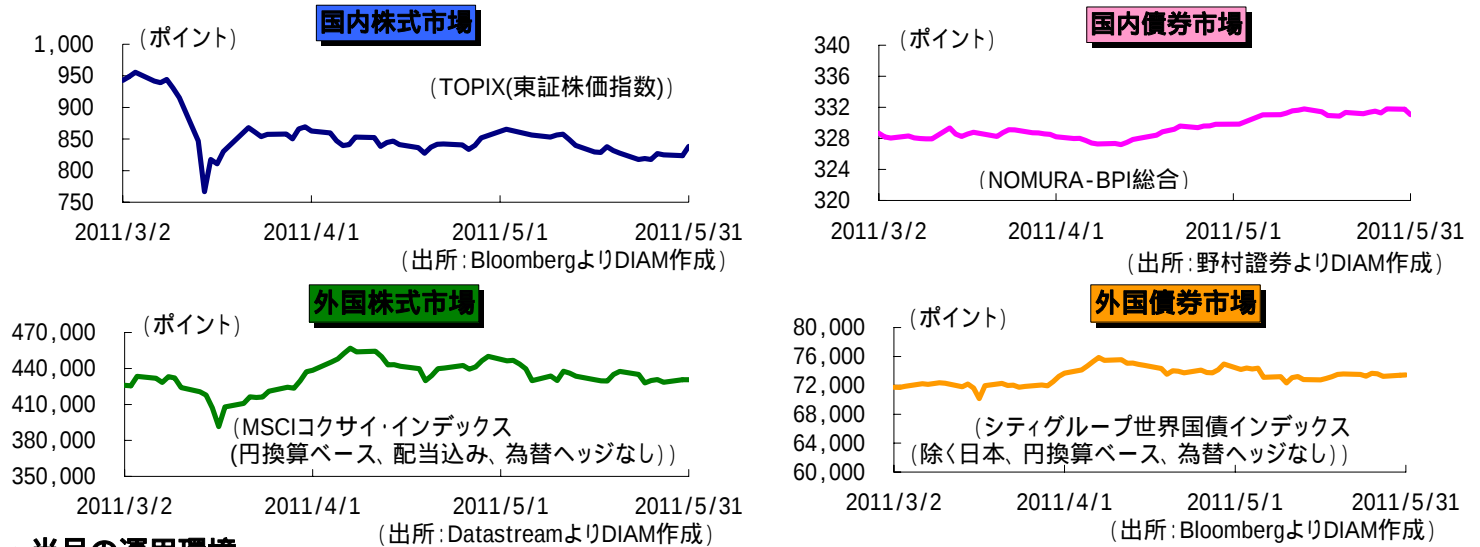


■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況 【運用環境】

2011年5月31日現在

● 主要指数の推移 (直近90日)



● 当月の運用環境

● 国内株式市場は下落しました(日経平均株価(前月末比: ▲1.58%)9,693.73円、TOPIX(同▲1.57%)838.48ポイント)。欧州の財政問題の深刻化や米国の景気減速が警戒されたことに加えて、東日本大震災の影響による企業業績の先行き不透明感や、枝野官房長官の東京電力向け融資の債権放棄を求める発言、為替市場の円高進行などが嫌気され、国内株式市場は下落する展開となりました。

● 10年国債利回りは低下(価格は上昇)する展開となりました(前月末:1.210%→当月末:1.165%)。上旬は、国内株式の軟調な推移や米国金利の低下を背景に、利回りは低下して始まりました。中旬以降は、高値への警戒感から売られる場面があったものの、国内投資家の国債需要は根強く、10年国債利回り1.1%台の狭いレンジでの推移となりました。

● 米国株式市場は下落しました(NYダウ(4月28日比: ▲1.52%)12,569.79ドル)。ギリシャを始めとする欧州の財政問題が不透明感を増す中、米国の経済指標が相次いで市場予想を下回り景気減速懸念が高まったことや、国際商品市況の下落により投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、米国株式市場は下落する展開となりました。

● 米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)する展開となりました(4月28日:3.311%→当月末:3.061%)。米国の経済指標の下振れや欧州の財政問題の深刻化に加えて、国際商品市況の下落に伴いインフレ期待が和らいだことや、新規国債入札が概ね良好だったことなどを背景に、米国債券利回りは低下する展開となりました。

● 為替市場は、ドルや円が主要通貨に対して上昇する中、ドル/円はレンジ圏で推移しました。月初は、米国の経済指標の下振れや商品市況の下落等を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時1ドル=79円台後半まで円高ドル安が進みました。しかしその後は、欧州の財政問題の深刻化を背景にドルが対ユーロで強含んだことや、日本の貿易収支悪化の思惑等を受けて、対円でドルは上昇する形となりました。ユーロ/ドルは、ギリシャへの追加支援が不透明感を増すなど欧州の財政問題が悪化したことや、ECB(欧州中央銀行)による利上げ期待が後退したことなどを背景にユーロが売られ、一時1ユーロ=1.4ドル割れまでユーロ安ドル高が進みました。4月28日比では、ドル/円については1円20銭円高ドル安の1ドル=80.88円、ユーロ/円は5円50銭円高ユーロ安の1ユーロ=116.27円となりました。

■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■ 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■ 投資信託は1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



■ この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意いただきたい事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投信の運用状況

2011年5月31日現在

- 東証株価指数(TOPIX) (配当込み) は、東証の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証株価指数(TOPIX) (配当込み) の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、同指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。
- NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

用語解説

■ 基準価額

投資信託に組み入れている株式や公社債などをすべて計算日の時価で評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこから投資信託の運用に必要な経費等を差し引いて純資産総額を出し、さらに計算日の受益権口数で割ったものです。

■ 参考指標

当ファンドが投資する各マザーファンドのベンチマークを、基本配分比率で合成したものを参考指標とします。

■ ファミリーファンド

ファンドが特定のファンドに投資する形態の商品設計のものをさします。受益者が購入するファンドをベビーファンド、そのファンドが投資するファンドをマザーファンドといいます。実質的な運用はマザーファンドで行うことにより運用の効率化を図っています。

■ ベンチマーク

ベンチマークとは、市場平均を表す指標のことで、運用実績の良し悪しを判断するための基準値となるものです。なお、パッシブ運用においては、定められたベンチマークの動きに連動する運用成果を目標とします。

■ デュレーション

デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を意味するもので、債券デュレーションが長いほど金利変動に対する価格感応度が高くなります。このため、債券投資におけるリスク尺度として使用されています。

■ イールドカーブ

イールドカーブとは、公社債の償還までの期間(残存年数)を横軸、利回りを縦軸にとり、グラフを描き、描かれた曲線をいいます。利回り曲線とも言い、金利の期間構造の分析に用いられます。

■ クーポン

クーポンとは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

■ 為替ヘッジ

外貨建て資産に投資する際の為替変動リスクを回避する手法のことをいいます。なお、為替変動リスクとは、為替相場は、日々変動するため、海外の市場に投資する場合や、外貨建ての金融商品に投資する場合、為替変動によって差損益が生じる可能性があることをいいます。

■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。■ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■ 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。■ 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 当資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。■ 投資信託は1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金・保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



■ この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ 特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■ 巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」「ご注意ください事項」を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、運用期間中の下記「保険関係費用(保険契約管理費)」、「資産運用関係費用(資産運用管理費)」および年金受取期間中の下記「保険関係費用(年金管理費)」を合計した金額となります。また、運用成果を確保した場合は運用成果確保時費用が、運用成果を確保する前に解約・積立金の一部引出をした場合は解約控除が、経過年数に応じて別途かかります。

	項 目	内 容	費 用	備考(適用時期等)
運用 期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	新契約成立および維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用等を含みます)	年率 2.78%	特別勘定(ファンド)の純資産総額に対して左記の年率/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用 関係費用 ^{*1} (資産運用管理費)	保険関係費用(保険契約管理費)以外で、特別勘定(ファンド)の運用にかかる費用(信託報酬率を記載しています)	年率 0.189% (税抜 年率0.18%) 程度	特別勘定(ファンド)の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して左記の年率/365日を乗じた額を毎日控除します。
運用成果 確保時	運用成果 確保時費用	ご契約日から1年以上6年未満に運用成果を確保した場合にかかる費用	5.0% ~ 1.0%	ご契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に左記の率を乗じた額を積立金額から控除します。
解約・積立金の 一部引出時	解約控除	ご契約日から6年未満に解約もしくは積立金の一部引出をした場合 ^{*2} にかかる費用	6.0% ~ 1.0%	ご契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額 ^{*3} に左記の率を乗じた額を積立金額(積立金の一部引出の場合は一部引出額)から控除します。
年金受取 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	ご契約の維持管理等に必要な費用	1.0%	年金受取開始日以降、年金年額に左記の率を乗じた額を年金支払日に責任準備金から控除します。

^{*1} 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。

なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

^{*2} 据置期間付確定年金へ移行した後の積立金の全額引出・一部引出には解約控除はかかりません。

^{*3} 積立金の一部引出の場合は、一部引出により減額される基本保険金額となります。

投資リスクについて

この商品は将来受け取る年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等が特別勘定(ファンド)の運用実績に基づいて増減するしみの生命保険(変額個人年金保険)です。特別勘定(ファンド)の資産運用には、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク等の投資リスクがあり、これらの投資リスクをすべてご契約者が負うことになります。したがって、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、積立金額・解約払戻金額等が一時払保険料相当額を下回ることがあります。また、積立金の自動移転が生じた場合には、特別勘定(ファンド)の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「ハイタッチ(変額個人年金保険GF(型)<年金原資保証特約(型)付加>)」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「ハイタッチ(変額個人年金保険GF(型)<年金原資保証特約(型)付加>)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額(一時払保険料相当額)を下回った場合には、年金原資は基本保険金額(一時払保険料相当額)の100%が最低保証されます。ただし、年金原資が保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただく必要があります。運用期間中に解約・積立金の一部引出をした場合の解約払戻金額には最低保証はありません。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒141-6008
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower
TEL 03-6420-4000(大代表)
ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せは

ご契約者さま専用テレホンサービス **0120-155-730**

受付時間 月～金/9:00～17:30

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)